

異常気象時代の 事業戦略

気象予報士が語る適応の視点



豪雨や猛暑など、異常気象が日常化する中で、当然ながら日常の暮らしやビジネス活動への影響も大きくなりつつあります。私たちは、技術の発展により、気象・気候の変化を予測し、備えるだけでなく、柔軟に適応していくことも可能な時代になっています。本講演では、これからの東海エリアの気候変化が私たちの暮らし・事業にもたらす影響や、持続可能な事業のために検討すべきポイントを気象予報士が最新データをもとに分かりやすく解説します。気象リスクへの備え方や将来の事業のあり方を考えたい方、気候変動をチャンスに変える視点を得たい方はぜひご参加ください。

一般財団法人日本気象協会 中部支社
事業サービス課 事業サービスグループグループリーダー

講師

小林 英臣氏

1976年、愛知県春日井市生まれ。2002年に名古屋大学大学院理学研究科修士課程修了。自動車部品メーカーでプログラマーとして勤務しながら独学で気象について勉強し、2005年に気象予報士資格取得。2006年に日本気象協会へ入社後は、官公庁・自治体・電力会社・鉄道会社等への詳細な気象予測の提供、新聞社・放送局向け天気原稿の提供、ラジオでの天気予報解説等に従事。2025年より現職で、気象予報業務の統括にも従事。

10.15 [水] 14:00-15:30

会場

ウインクあいち 1102中会議室

愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL.052-571-6131

参加費

共立ビジネススクラブ会員

無料

一般 5,500円

定員

50名

お申し込みは専用Webサイトをご利用ください
※定員になり次第締め切らせていただきます。

二次元コードの読み取りかワード検索で、
専用Webサイトにアクセスしてください

共立ビジネススクラブ講演会

